

「安全な住環境に関するシンポジウム in 大阪VI」開催計画

特定非営利活動法人 シックハウスを考える会
安全な住環境に関する研究会

I. 開催趣旨及び目的

「室内の有害化学物質に対するシックハウス症候群」に関する対応は建築基準法改正で、一定の成果をあげました。しかし、市場では、ごく微量の化学物質の存在が、住宅における健康被害の根源であるかのような論調がまだ少なくありません。

しかし、厚生労働科学研究班の報告では、建築基準法改正に伴い化学物質の被害は減少傾向にあるものの、温湿度が問題と思われるカビ・ダニ等の繁殖及び生成物等が問題視されています。しかしながら、建築サイドのみでは、温湿度コントロールは可能でも、どの程度の温湿度が、健康の人に、またアレルギー等の患者にとって良いのかは決めることが不可能です。すなわち、医学との連携なしに真の健康に何らかの良い影響を与える住宅性能の確保は困難な状況です。また、家庭内の化学物質が原因で死に至るケースはまれですが、室内の温度差で脳梗塞や、心疾患を発症し通常的生活に支障をきたしたり、亡くなる人も少なくないといわれています。

このように、真の健康的な住環境の実現には、医学、建築学の専門家が力を合わせ、広い分野から考えるシックハウス（化学物質やそれ以外に、カビ・ダニや湿度環境など室内原因因子由来）や温度差による脳・疾患に対する研究、対策が急務であると考えます。

このシンポジウムでは、これらの問題を、行政、学術団体、業界団体、消費者団体の枠を超えて、共有し、解決に向けた方策を探ってまいります。

II. テーマ

「化学物質一辺倒のシックハウスから新たなステージへ」

III. 開催日時及び開催場所

1. 開催日時 平成19年9月23日（日） 13:00～17:30
2. 開催場所 四条畷市市民総合センター市民ホール
(大阪府四條畷市中野3丁目5-25) 電話 072-879-2121

IV. プログラム

別紙の通り

V. 併催

協賛企業によるシックハウス対策向け建築材料・技術・工法展示

以上

<プログラム> (案)

開 会	13:00	開会の辞 シックハウスを考える会理事長 挨拶 安全な住環境に関する研究会幹事	上原 裕之 竹林 義晃
各界挨拶	13:10	「広義のシックハウス対策に期待する」 関係団体各位	各5分
基調講演	13:25	「温熱と湿度と住宅の健康性能について」 坂本 雄三氏 (東京大学大学院建築学教授)	20分
		「シックハウス症に関する最近の医学情報」 原 一郎氏 (関西医科大学名誉教授)	20分
活動報告	14:05	安全な住環境に関する研究会 研究報告及び今後の研究について 岩前 篤氏 (近畿大学工学部建築学科准教授) 杉田 隆博氏 (中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター所長) 濱田 信夫氏 (大阪市立環境科学研究所) 石津 京二氏 (関西電力株式会社研究開発室エネルギー利用技術研究所商品評価研究室主任研究員)	80分
休憩	15:25		
パネルディスカッション	15:40	「広義のシックハウス対策の推進の必要性について」 パネラー 檜橋 康英氏 (国土交通省住宅局住宅生産課企画専門官) 横手 広樹氏 (経済産業省製造産業局住宅産業窯業建材課課長補佐) 杉田 隆博氏 (大阪府医師会環境保健委員会副委員長) 青木 宏之氏 (社団法人全国中小建築工事業団体連合会会長) 岩前 篤氏 (近畿大学工学部建築学科准教授) 東瀬 幸枝氏 (日本主婦連合会会長) 平島 寛 (日経アーキテクチュア発行人)	90分
司会		上原 裕之 (シックハウスを考える会理事長)	
挨拶	17:10	今後の協力体制に関するアピール	
閉 会	17:20	挨拶 シックハウスを考える会副理事長	萩原 健
総司会		中野 進 (三洋ホームズ株式会社営業戦略室商品戦略課担当課長)	